

こんにちは!

陶磁と緑の町  
はさみ

# 議会です



キヤノン工場建設始まる

## No. 107

平成21年8月12日発行

キヤノン来年操業決定	2P
6月定例会	3P
行動する委員会	4P
一般質問 10人	5P
私もひとこと	12P

# 「よかったね」

# 「よく決断」町中笑顔

## キャノン 7月着工

## 来年4月操業開始 決定!!

デジタルカメラ世界最大手のキャノンは建設を延期していた長崎キャノンの生産工場を、7月に着工すると発表され、6月17日には県側と用地売買の契約も完了されました。

面積20・4畝、価格はおよそ30億円で周辺部18畝は県より本町に無償譲渡され、管理は本町となります。

現在、370名（本町出身43名）が正社員として採用され、大分キャノンで研修中。操業開始に合わせ順次新工場にもどられる予定です。

本年度の採用計画は新規高卒者を中心に、昨年と同程度を予定されています。

また関連企業等の進出を見込み、町営工業団地の建設も早期に着工する予定で、更なる活性化が期待されます。

### 法定合併協議会等の動き

H19年 9月	県が3町の枠組みでの構想案を示す
H20年 4月	法定合併協議会設置に向けての署名活動開始
7月	3町の住民団体が必要な署名数の凡そ10倍を集め議会に諮るよう求める「同一請求」を提出（署名数波佐見2598、川棚2508、東彼杵1252）
9月	波佐見町議会 協議会設置を13：2で可決 東彼杵町議会5：6で否決
10月	川棚町議会11：4で可決
H21年 1月	東彼杵町住民投票2811：2189で設置決まる
3月	第1回合併協議会開催
4月	第2回合併協議会開催
5月	第3回協議会で電算システムの予算計上を巡り紛糾
6月 3日	県は「電算システムの予算を前倒して交付できるよう検討する」と回答
6月 7日	臨時会 3町長とも電算の統合費を6月議会に計上しないと明言
6月19日	波佐見町合併委員10名で打ち合わせ 全員一致で、終結、廃止と決定
6月22日	川棚町委員10名で打ち合わせ 大方の賛成で打ち切り決定
6月23日	東彼杵町委員10名で打ち合わせ 意見まとまらず
6月23日	臨時会開催 各町の結果報告、継続を希望する8名の意見があったが、各町で結論は出ている、と協議会廃止に向けた手続きに入る

### 協議会のこれから

8月7日、第5回波佐見町議会臨時会が招集され、東彼杵郡合併協議会の廃止について議案が上程されました。審議の結果7：7可否同数により議長裁決で可決されました。また、川棚町議会では10：5で可決、東彼杵町議会では4：7で否決。1町で否決されたので、東彼杵郡合併協議会は継続されますが、休止の状態となります。

東彼3町法定合併協議会 破たん!!  
わずか3か月 3町長の消極姿勢反映

# 平成20年度 上水道事業会計決算認定

# 6月 定例会

総収益は275,915,303円、総費用は226,242,693円で差引き49,672,610円の純利益を生じている。

その結果、前年度の繰越利益剰余金29,966,532円を加えた当年度末処分利益剰余金は79,639,142円となり、この内2,500,000円を減債積立金へ、40,000,000円を建設改良積立金へ積立て、残りの37,139,142円を利益剰余金と予定されている。

本町の上水道事業は、給水人口1万5,313人、給水戸数4,864戸で、上水道給水区域内の普及率は99.62%でした。

1人あたりの使用水量は、1日あたり217ℓ(2ℓペットボトルおよそ100本分)。

また、キヤノンや関連企業の進出で、対策は図られているが、更に万全を期して安定した供給が図られるよう取り組んでもらいたい。

平成21年第2回定例会は、6月16日～19日までの4日間の会期で開催されました。

平成20年度上水道事業会計の決算認定、人権擁護委員候補者の推薦について審議しました。

## ○人権擁護委員候補者の推薦について

満上恵子氏(小樽郷)について意義なく推薦されることになりました。

## 第3回会 5月28日、

招集されました。

○専決処分の承認を求めることについて

指定管理者の指定

「陶芸の里伝習館」の施設管理に中尾郷自治会を指定管理者として指定

波佐見町税条例の一部を改正する条例

平成20年度波佐見町一般会計補正予算

平成20年度波佐見町特別会計5会計補正予算

町議会議員の期末手当の条例の一部改正

6月支給の期末手当を1・6から1・5カ月とする

一般職の期末手当、勤勉手当の条例の一部改正

国家公務員の給与改定の状況等を踏まえ6月支給分を

2・15から1・95カ月分とする

町長、副町長の期末手当の条例の一部改正

6月支給の期末手当を1・6から1・5カ月とする

以上11議案を承認しました。

## 第4回会 7月15日、

招集されました。

○町営住宅・山崎団地建替工事請負契約について

【契約方法】

指名競争入札

【契約金額】

一億二千二百三十二万五千元

【契約の相手方】

上山・執行建設工事共同企業体

## 賛否表

○は賛成 ●は反対

議案番号	議決の結果	表決数 賛成:反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			尾上和孝	藤川法男	松田宇子	川田保則	今井泰照	太田一彦	松尾道代	原昭治	松尾幸光	松林一夫	福田洋吉	大久保進	武村龍宏	中村與弘	吉田経英
議案第42号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号 町長及び副町長の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 波佐見町議会議員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 行動する委員会

## 所管事務調査報告

### 県・町道の 整備計画について

#### 産業建設委員会

町の振興実施計画により進められ、限られた予算のなか、継続路線の早期完成、新規については緊急性の高い路線を優先的に実施している。

県道については、6路線あるが21年度は4路線が整備計画されている。町道については、地域住民からの整備要望が多く、

現在の限られた予算では充分な対応が出来ない。予算は、工事費、用地費、測量設計、補償費などを含め、前年度予算より2000万円程度低下している。

3月議会で付帯決議を可決、投資的経費の拡大に前向きな対応が必要である。

### 福祉対策について

#### 文教厚生委員会

**調査内容について**

県のふるさと雇用再生特別交付金事業（21～23年度）として、開始予定の高齢者世帯への配食サービス事業について、調査した。

**取り組みの状況**

町内の飲食業者に説明会の案内を送付した。11業者の参加を受け当

事業の概要説明を行ったところ、4業者が事業計画書を提出された。

第一回選定委員会を6月2日に開催し、今後更に委員会の中で協議される所が決定される。

尚、配食サービスの利用希望者は、民生委員や包括支援センターを通して募集される見込みである。

**まとめ（要望）**

書類審査や面接審査に留めず、弁当の試食等も行い、公平公正な委託先の選定実施を望む。

また、利用者のニーズに応え、配食サービスが長続きすることを願う。

### 消防行政の課題

#### 総務委員会

現在、条例による年齢は、18歳以上45歳未満、補助団員は55歳未満である。

また、定数は330人に対し、現在補助団員を入れて合計307人。その中で実働団員は約3分の2程度である。

今後は総合的に、団員確保のための年齢調整、更には、女性消防団員制度

の導入を積極的に進める必要がある。

施設については、老朽化した詰所及び格納庫は随時、年次計画によって建て替えを望む。

**自治会が抱える問題**

近年各自治会は未加入世帯が増加している問題を重要視されている。特に民間アパート等の

世帯の未加入者が多いことが伺える。

今後は心のふれあいや連帯感をより高め、更に、自治会未加入者を防ぐため行政と自治会及び地域住民が連携して、自治会の大切さを理解し、自主的に加入して頂く対応策を早急に講じなければならぬ。

#### 県下町村

##### 議会議員研修会

7月1日(水)、長崎県市町村会館において議員研修会が開催された。

最初に「住民自治時代の議会の役割と課題」と題し山梨学院法学部教授の江藤俊昭氏からの講演を受講した。議会の存在意義として、住民に開か



れた住民参加を促進し、首長とも切磋琢磨し、議員同士の討議と議決を重視することを学んだ。

また、日々いろいろな動きがある一国内の政治情勢について、慶應大学法学部教授の小林良彰氏に講演を頂いた。特に、今後おこなわれる衆議院議員選挙の情勢について詳しく拝聴することができた。



# 町政を質す!

## 一般質問

県道整備の協議は……。

水道料金の値下げを……。

浄水、配水施設更新整備どう進める計画か。



武村龍宏議員

**問** 新幹線長崎ルート建設が始まる。

新駅に最も近くに位置する町の道路について県との協議はどうしているのか。

**町長** 稗ノ尾地域の拡

幅についての協議で地権者の意向を県が再度確認され、整備に向けた前向きな回答を地元に向けたが貰えない。

山内線、野々川郷内急カーブ現地調査箇所  
で20年度要望の急カーブ改良は用地の相談ができなかった部分がある。湯無田郷内熊野神社と大日までの区間については、平成18年11月に要望している。

通学路として交通安全の面からも地元と協議を行い検討していく。

**建設課長** 大日と館線事業実施についてPTA会長・中尾・三股・永尾・小樽・野々川・湯無田郷の自治会長の連名で6月15日要望書提出があつている。協議、検討する。

**問** 県から用地相談があれば、英断できるか。

**町長** 町有地、学校用地校庭の広さから用地は削つても差し支えない事は十分県にも言つてきているので心配な

**問** い。水道料金値下げの見通しはどうか。

合併協議4号水道事業の取り扱いに関する調整内容が示してある。

他町との料金差が約1・7倍あるなかで同じ水道水を工業用水として1トンあたり57円で供給する予定と言わ

れているが、計画を立て段階的に水道料金値下げを行うことはどうなのか。

**町長** 水道ビジョンを作り、老朽化した設備の更新経費に6億円を見込んでいます。

起債支払いが減少する23年くらいに検討の考えでいます。

区分 種別	量水器 口径	基本料金 (1カ月につき)		超過料金
		基本水量	料金	
専用 共用	13mmまで	5㎡まで	1,300円	1㎡につき 220円
		10㎡まで	1,900円	
	20mmまで	10㎡まで	2,600円	
	25mmまで	10㎡まで	3,300円	
	40mmまで	10㎡まで	4,000円	
臨時用	41mm以上	10㎡まで	6,900円	
		10㎡まで	4,000円	
工業用		別に定める水量	1㎡につき57円	1㎡につき114円

※料金は、上記表により算定した基本料金と超過料金との合計額に100分の105を乗じて得た金額とする。ただし10円未満の端数は切り捨てる。  
「工業用」とは、長崎県が造成した波佐見工業団地に立地する企業が工業用に使用する水道とする。

## 切なる願い敬老祝い金

## 分離ますの掃除が大変



松田宇子議員

**問** 平成20年度より、77歳の方への敬老祝い金が廃止されている。

**町長** 平成17年度の合併破綻後の財政運営

上、削減項目60の事業

において、集中改革の見直しにより、77歳の敬老祝い金も廃止した。

**問** 支給基準日が9月1日だったため、同級生同士でも支給される方とされない方がおられる。大きな矛盾を感じるが。

**住民福祉課長** 一応支給の区切りとして同級生でも、やむを得ない。

**町長** 老人対策や介護医療問題等、十分な対策を厚くしてきたとの思いはある。

従来通り、75歳以上の敬老会には、補助金を支給する形で進めていく。

**問** 現在、共用開始の家庭用台所の分離ますに付着する汚泥の除去作業は大きな負担であり、高齢者世帯など苦勞されている。

改善する考えはないか。

**町長** 下水道に使用している管の耐用年数は50年であり、長い期間

使用する。

油類が管の中で固まり管に付着し、流れを悪くするため各家庭の台所配水管には、分離ますを設置し油類を除去する必要がある。

各家庭でのご協力をお願いしたい。

**問** 水洗は使い勝手がよく利便性・快適さが求められるもの。  
\*EM菌の活水液は汚泥などが分離されやすく浄化槽にも負担をかけ

ない、水質がきれいになることなど、取り入れている自治体もある。

高齢者の負担を軽減するためにも、導入できないか。

**上下水道課長** EM菌を使った活水液の効用は十分把握していない。今後考えたい。

※EM(有用微生物群)とは人間にも自然にも役立つものを有用微生物(善玉菌)といい、これらの複数の役に立つ微生物を組み合わせるものをいう。



趣味の友 和む心で 手先も弾む

## キヤノン進出による

## 定住人口の拡大策は？



太田一彦議員

**問** 6月5日キヤノンは延期していた長崎キヤノンの社屋建設工事が着工と操業開始を表明された。これにより、本町は雇用の確保や税

取の増加等が見込まれるが、定住人口の拡大策についてはどうか。

**町長** 大型企業の立地に伴う従業員の定住に向けた住宅整備や新たな住居の建設、また、これらに対する助成等は行っていない。

民力(民間)に委ねているのが実情である。  
**問** 行政改革を推進する上で、情報公開は不可欠である。

鹿児島県阿久根市では市長が全職員の給与を匿名でネット上に公表している。本町も同様の公開ができないか。

**町長** 阿久根市は全国的にみて特異なケースである。職員の公務能力の面や国・県それ以外の団体の動きを見ながら慎重に対応したい。現時点での同様の公表は考えていない。

**問** 本町は同一規模の自治体の中で、日本一少ない職員数であると言われるが、今後、さらなる行政改革をどの

# 合併協議 民意を大切に 真摯に取り組むべき



松尾道代議員

**問** 本年3月、東彼杵郡合併協議が設置され、22年3月までに合併することを目標に進められているが、町長の表情に合併は見えない。

将来においては合併しなければと言われるが、将来とはいったいなぜ今ではなく、将来か。

**町長** 将来とは今から先。合併は相手のあること。いつ、どうなるかわからない。さまざまな環境状況の変化がある。

経済状況も住民の価値観も変化がある中で、いつと期限を切って言えるものではない。解っていたら教えて頂きたい。

**問** 前回の破たんから4年、常に「将来においては合併しなければ」と言われてきた。

当然良い合併を目指すべきで、もつと前向きな姿勢が欲しいが。

**町長** 前向きになれる環境ではない。

住民主導だから我々は何もないままにテーブルにつかされた状況である。

合併してどんな効果上がるのか、どんな

リスクがあるのか、きちんと把握しないと本質を見誤るおそれがあるのではないかと思う。

**問** 立ち上げに苦労された町民の民意、願った町民の民意、議員13名の協議会設置の賛同を拒否、に映るが。

**町長** 3町長でも共通しているところ、非常に対立しているところが出てきている。心合わせてきれいなことではない。同情はするが、妥協はされん、それが上に立つ人間の本当に厳しい立

**問** 3町長でも共通しているところ、非常に対立しているところが出てきている。心合わせてきれいなことではない。同情はするが、妥協はされん、それが上に立つ人間の本当に厳しい立



合併協議会の様子

ように進められるのか。

**町長** 平成17年に歳入歳出の大幅見直しにより、人件費・道路予算・地域の助成金等の削減によって成果が上がってきている。

これはやり過ぎ？でもわかりやすい……本町も情報公開について、さらに研究すべきでは

場を提供することも必要。そういう面で、さらに民営化できないか。また委託できないか。それと東彼3町の一部事務組合の業務を拡大できないか。そのような研究をさらに進めていかなければならない。



読売新聞西武本社提供

各課に張り出された、それぞれの人件費(4月17日、鹿児島県阿久根市役所・総務課)

総務課  
平成19年度人件費総額 16817万円 (正規職員26名分)  
皆様のお役に立つ職場作りに努めます

## 万年橋の掛け替えはなるか？

## 平瀬・佐世保線の整備は？

## 西高野地区農業地30ヘクタールの有効活用は？



川田保則議員

**問** 地域住民の永年の切望である、万年橋の掛け替え工事の着工は実現できるのか。  
**町長** 県道整備は将来的に必要性・有効性・

費用対効果等について評価され、最優先事業として予算化された。調査も終わり相続人一名の不同意のため、用地や建物補償が未執行である。  
**問** 県との協議を重ね、相続人の同意を得るべく最善を尽くす。  
**町長** 志折橋交差点から旧温泉センター間の道路400mの拡幅の計画はないか。  
**町長** 温泉施設の計画陶農レストランの開業により地域の活性化、本町の農業振興と人口の交流も拡大される。道路の未整備については、万年橋と平行して県への要望を行う。  
**問** 耕作放棄地の解消への取り組みはどうか。  
**町長** 本町を含め農林行政の大きな課題である。今後の農地の再生、整備は避けて通れない。農地の有効活用と食料の自給率向上や農業振興のため県の補助支援制度を活用し解

## 町長の消極的姿勢が目立つ合併問題！

## 第二西線の計画実施は？



藤川法男議員

**問** 法廷合併協議会は、住民や議会はもとより、県も三町合併に前向きな判断を示された。それなのに予算計上を見送られる状況で

あり、さらなる説明をすべきだ。  
**町長** 一年足らずの期間で到底無理で県も三町合併に前向きに判断を示されたが、合併協議会は市町村の当事者同志の事であり、そこで決定した事を住民に説明し理解を求め合併が可能となる。  
**問** 県が、リスクを含めた予算支援をするという中で町長は今度時間がないと言われるのはどうだろうか。  
**町長** 本来ならば使用料、補助金など協議会で確認し、最終的に合併協議会で協定書を結ぶ。その後10月、11月から電算の作成では、期限の来年の3月31日までは間に合わない。  
**問** 町長は、前回の破綻検証が出来ていないと言いが、検証するのは3町長ではないか。  
**町長** 私自身も合併の破綻の原因は3町当事者だとわかっている。  
**問** 町長が合併破綻の

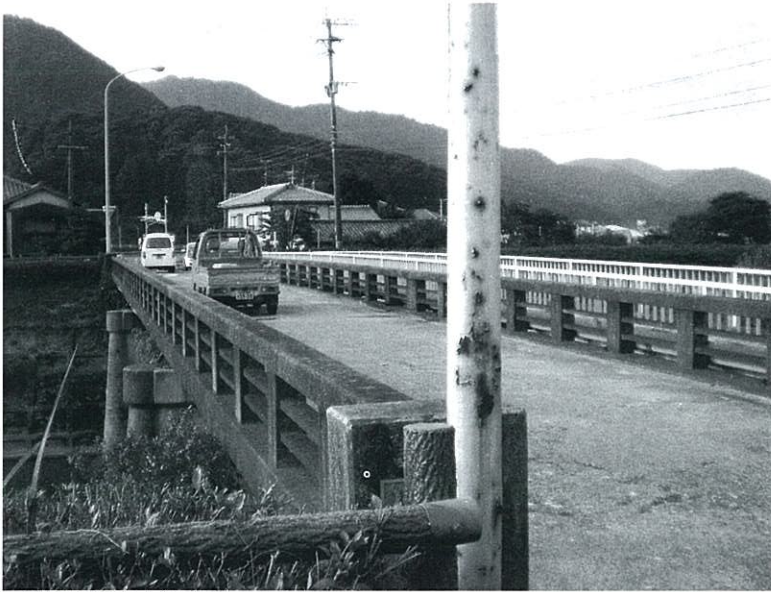
原因がわかっているとということなら、署名活動までしなくても良かった。協議会の中でなぜそれを言わなかったのか。  
**町長** 結局今度はその三町長の胸の内原因はある。やはり今度は民意の住民発議でありわれわれが積極的にやってきたわけではない。  
**問** 長崎キャノン及び

ミニポートピア周辺の県道の交通渋滞で第二西線が迂回路となるが非常に狭い、道路拡幅の計画の実施はどうか。  
**町長** 平成21年度の予算編成で慎重に協議し事業実施に向け用地費及び補償費の予算を計上した。来年度以降の計画は、可能な限り継続的に実施できるように予算の確保を図りながら進みたい。



拡幅が待たれる第二西線





早期掛け替えが待たれる万年橋

消に取り組み、関係者の意向や合意を得ながら進めていきたい。

**問** 西高野地区（長野郷）を農業者の育成の場としての利用はどうか。

**町長** 近年特に後継者不足や、就農者の高齢化等農業農村を取り巻く情勢は大変厳しい。本町においても関係機

関や団体と連携を密にし、認定農業者や集落営農の育成と支援のため、国・県の補助や支援制度を活用し、当地区の意欲ある農業者を中心に十分な営農活動計画を策定し、農地の有効活用、再整備に向けた地域の担い手、農業者の育成支援に努める。

## 旧講堂の文化財としての申請は

## 構想から20年、区画整理事業は



原 昭治議員

**問** 文化財の申請は現在どのような状態になっているのか。

**教育長** 国の登録文化財の申請は可能である。旧講堂の利活用について県の指導もあり、商

工企画課で利活用の検討をする。

**問** これから雨の季節になるが、風雨の対策は万全か。

**総務課長** 雨が漏っている瓦を修復するのか、雨どいが原因か十分精査して修繕を検討する。

**問** キヤノンの工事が7月から始まる。工事車両の出入りが多くなるが道路、通学路の安全対策は万全か。

**商工企画課長** 資材の搬入が、いつの時間帯になるのかわからないが、業者は通勤、退社時間帯を避け、渋滞を招かないようにされると思う。

**問** 事業の長期化によりタイムラグも発生しており、せっかく移転交渉に応じられた方が、地区を出ざるを得ない状況になっている。これは区画整理事業に相反しているのではないか。

**町長** 本事業の目的として人口の増加も計画

しているが、事業の長期化により逆に減少している。町は出来るだけ影響を小さくし、一日でも早い土地の引き渡しができるよう21年度の事業費として1億4000万円を計上している。区画整理事業については、面的整備として進めていることや、町財政の状況から、タイムラグについては理解をお願いしたい。

**問** 地区内関係者はこ

の事業に協力するため、長期にわたり自宅や店舗の新築、改築に制限を受けてきている。今後いつまでその規制に縛られるのか。

**町長** 現時点の扱いとして新たな補償はしない、求めない等の条件を付して許可になるよう県に進言している。事業期間は規制を受けるが、状況により規制緩和を行った経緯もある。



風雨の対策が急がれる旧公会堂

## 西ノ原土地区画整理事業の規模縮小はどのような計画か



福田 洋吉議員

**問** 西ノ原土地区画整理事業は、財政が厳しいことから事業規模の大幅な縮小を模索されているが、事業の範囲・期間・予算はどの

## 旧講堂再生・活用はどう進めるのか

ような計画か。

**町長** 事業の長期化により区域内での建築規制・制限など支障をきたしているのが種々比較検討し事業規模縮小による見直しが必要かと考えたが、規模縮小について具体的計画は決定に至っていない。事業規模縮小については、地元同意、事業全般の見直しも必要であり、地元と町が一体となり検討を行い、国・県と十分協議調整をする必要がある。

**問** 井石郷自治会長・西ノ原街づくり委員との連携はどう進めるのか。規模縮小案を提示し規模縮小が可能かどうかを含め徹底的に研究されるべきである。又、国・県は縮小については消極的と聞くが、どのような手続きで認められるのか。認められた場合、現在までの補助金などの扱いは。  
**町長** 街づくり委員会は地区の代表で構成さ

れ委員会に要請があれば参加をしている。縮小案は具体的な計画や方針の決定まで至っていないが、見直しを行うなら、縮小による影響や補助金問題等、解決すべき課題が生じるので、初歩的課題から十分な調査研究をする必要がある。

**問** 旧講堂の再生活用を表明されたがその後変化がないのはなぜか。旧講堂の位置は区画整理の換地対象地と思う

が、解除できるのか。いずれにしても将来の展望を明らかにするべきである。

**町長** 旧講堂は平成8年解体決議し9年度街区計画及び換地計画の変更を行い事業認可を受けている。現在地に残すとなれば換地計画を変更することも考える。保存については、現在地に残すべきかどうか十分な検討を行い判断する必要がある。



西ノ原区画整理はどうなるの？

## 図書館のさらなる活用、リサイクル文庫・勉強に集中できるスペースは！



尾上和孝議員

**問** 読み終わった必要な本も読みたい人がいるはず。今後、本のリサイクルを考えられないか。  
**教育長** 図書館のスペ

## 子ども達の声を町政に！

ースからして余裕がなく、別の場所だと、管理等の問題が生じ、大変難しい。

**問** パテーションで1人ずつの席を仕切り、勉強に集中できるスペースを確保できないか。  
**教育次長** 本に落書きや破つたり等の問題も出てくるおそれがある。現在の利用が一番最適ではないかと思う。

**問** 夏休み、宿題や研究発表で子どもたちの図書館利用が大変多くなる時期がある。混みそうな時期のみの別室の開放は出来ないか。

**教育次長** 管理をする人がいなければとんでもない事になるおそれがあると危惧される。今のところ考えていない。

**問** 年に一回でも、本の交換会（リサイクル）の考えは。

**教育長** 教育委員会の中では考えていないが趣旨には賛同する。

# 大企業誘致 町民サービスのしわ寄せはないか



中村與弘議員

**問** 社会を明るくする施策の中で、投資的資金源確保の状況は。  
**町長** 20年度の、町税の決算状況は119万の伸びである。

また、今年度はコンビニでの納付導入は軽自動車税を中心に増えている。

さらに、6月よりインターネット活用でのクレジットカードによる納付も可能となる。

**問** 入湯税を整備し条例制定する考えは。

**税務課長** 本税の条例改正の提案を9月議会に現行の税、150円、日帰り50円で計画している。

**問** 大企業誘致における町負担金の増加で町民サービスへのしわ寄せは出ないか。

**町長** 6月17日、県土地開発公社から長崎キヤノンに売却される。

その他の施設は県より町へ無償譲渡される事となるが、完成後も2年間は瑕疵担保条項がある為、施設に損傷が生じた場合、県土地開発公社が取り扱う事となる。

**問** 防犯灯や街路灯の設置での今後の取り組み

みはどうか。

**町長** 現在、波佐見町管理の防犯灯、街路灯が166基、自治会や商店街、管理組合の管理している防犯灯、街路灯が2300基整備され、毎年10基程度を設置している。

**商工企画課長** 西ノ原街路灯は「国の安全・安心関連事業」の中による補正で、商店街活性化事業の補助金が緊



整備された街路灯 (西ノ原地区)

急に2/3にかき上げされたので、九州経済局に申し入れ、今回25基の事業を採択され、現在完成した。宿の方は町の地域振興補助金を活用され電柱に付け、街路灯として完成された。

### その他の質問

- ・工業用水事業の立ち上げを
- ・上水道の値下げを

### 子どもたちの声を町政に!

**問** 小・中・高の素直で斬新なアイデアを事業に展開する事が出来ないか。

**町長** 今までの事業と

視点が違った形の中で提案等をどういうふうに見えるか、公募をするか。

そこをお互い検討していかなければならないと思う。



混みそうな時期、別室開放を

# 私もひとこと



ライオンズクラブ国際協会337-C地区ガバナー  
波佐見ライオンズクラブ 八並 信

## 笑顔求めて

波佐見ライオンズクラブから90歳以上の誕生日を迎えられた方にお祝いの花束をお届けするようになり間もなく20年になります。様々な人生経験をもちのお年寄りにお花を届けて参りましたが、すべての方に共通するのは、私たちが笑顔で迎え「ありがとう」と言つて下さることです。たとえ言葉がご不自由な方でも、笑顔で気持ちが伝わります。

また、「青空天国子供の集い」という行事で子供たちに様々な体験の場を提供して参りましたが、ミニSL、熱気球、ペットボトルロケット、オリエンテーリング、リレーマラソンなど各々の遊びの場面で元気な笑顔を見せてもらいました。小さな子供たちだけではありません。海外から波佐見に派遣されてくる青少年交換留学生たちは、最初は不安な顔をしています。うちとけてくるにつれ笑顔を見せてくれるよ

うになります。また波佐見から送り出した交換留学生は帰国報告会で堂々たる発表と満面の笑みを見せてくれます。さて、私たちは様々な事業を行うための資金をバザーで獲得しています。文化祭、はさみ炎祭り、ロードレース大会などで会員が力を合わせながらバザーを行っています。炎天下にフーイー言いながらも仕事を成し終えた時互いの顔を見ながら微笑んでいます。

人は達成した喜びを感じたり、心が触れあつたとき素敵な笑顔になるようです。お母さんが子供をあやすあの笑顔はその最たるものでしょう。でもその美しい笑顔が角膜の障害で見えない人もいます。

私たちライオンズクラブの会員は「私たちは奉仕する」を合い言葉にアイバンク活動（角膜移植推進活動）に積極的に取り組んでいます。新しい笑顔を求めて。



次回の定例会は 9月中旬 からの予定です。

## 編集後記

先日、あるテレビ番組で平林都さんとおっしゃる有名なマナー講師が紹介されていました。

平林都さんは全国の企業や病院、役所等でマナー「接遇」を教えておられます。

「接遇」とは、相手に気持ち良く楽しく笑顔になつてもらふこと。

マナーがしっかりと出来ているなら、お客様は満足してくれるしリピーターとなつてまた来町してくれる可能性は高まるものと考えます。

これからの波佐見町においては、キャノンや関連企業、温泉・ボートピア等でいろんな人が訪れます。

町民こそつて笑顔で  
お迎えしたいものです。

尾上和孝



議長 松添 一道  
議会広報調査特別委員会  
委員長 松尾 道代  
副委員長 松田 宇子  
委員 今井 泰照  
尾上 孝  
川藤 和男  
田川 保則